

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月4日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【10tトラックの駐車中車両との接触事故について】 協力企業作業員が10tトラックで資機材運搬中、4号機タービン建屋東側道路を右折した際、道路右端に駐車中の車両にトラック荷台の後部を外輪差により接触し、駐車中車両の右側ドアミラーを破損。 駐車中の車両内には人は乗っていなかったため、人身災害は発生しておらず。 10tトラック側は損傷なし。 原因は、車両が駐車していたため、通常より道幅が狭かったものと推定。 今後、対策を検討。</p>	GⅢ	7月29日
2	<p>【3号機 圧力抑制室内包水サンプリング作業における受け養生内の溜まり水について】 3号機 圧力抑制室内包水サンプリング作業において、取水装置を遠隔webカメラにて監視中の協力企業作業員が、取水装置内の希釈用の純水タンクより予め設置していた受け養生内に約50cm×1m程度の溜まり水を確認。 また、下記についても確認した。 ・取水作業中断中(取水ポンプ停止および装置内の全電磁弁が閉止中)のため、漏えいが継続していない。 ・受け養生外への漏えいが無い。 今後、原因調査を行う。</p>	GⅢ	8月1日